

つなげるつながるネットワーク化の促進 ～誰もが利用できる環境にやさしい公共交通ネットワークを目指して～

公共交通は、子どもから高齢者までみんなの生活を支える大切な移動手段です。宇都宮市は、既存の鉄道やバス路線の充実・強化、地域の特性に応じた地域内交通の運行など、公共交通を

便利にする取り組みを積極的に実施・支援することにより、誰もが安全、安心、快適に利用できる環境にやさしい公共交通ネットワークの実現を目指しています。

みんなが便利に利用できるように、いろんな公共交通を整備したり、つないだりするんだね。

このほかにも「トランジットセンター※」「鉄道駅のインフォメーションの改善」「バス運行情報の提供」なども考えています。

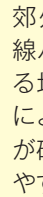
公共交通がどんどん利用しやすくなれば、クルマが運転できなくても便利に移動ができて、将来的にも安心して暮らせるね。

郊外部での移動が便利に!

●地域内交通の運行



清原さきかけ号 板戸のぞみ号



郊外の拠点では、路線バスなどにつながる地域内交通の運行により、日常生活の足が確保され、移動がしやすくなります。

都市拠点や周辺市街地での移動が便利に!

●循環バスの充実



きぶな

周辺市街地や都市拠点では、路線バスなどにつながる循環バス(ミニバス)の充実により、円滑に移動できるようになります。

各拠点間の移動が便利に!

●バス路線の充実



ノンステップバス

各拠点間では、バス路線の新設や運行本数の増便、乗降しやすいノンステップバスの導入などにより、路線バスが利用しやすくなります。

公共交通全体のつながりが充実!

●新交通システムの整備(例)



LRT(ライト・レール・トランジット) フランス ストラスブール

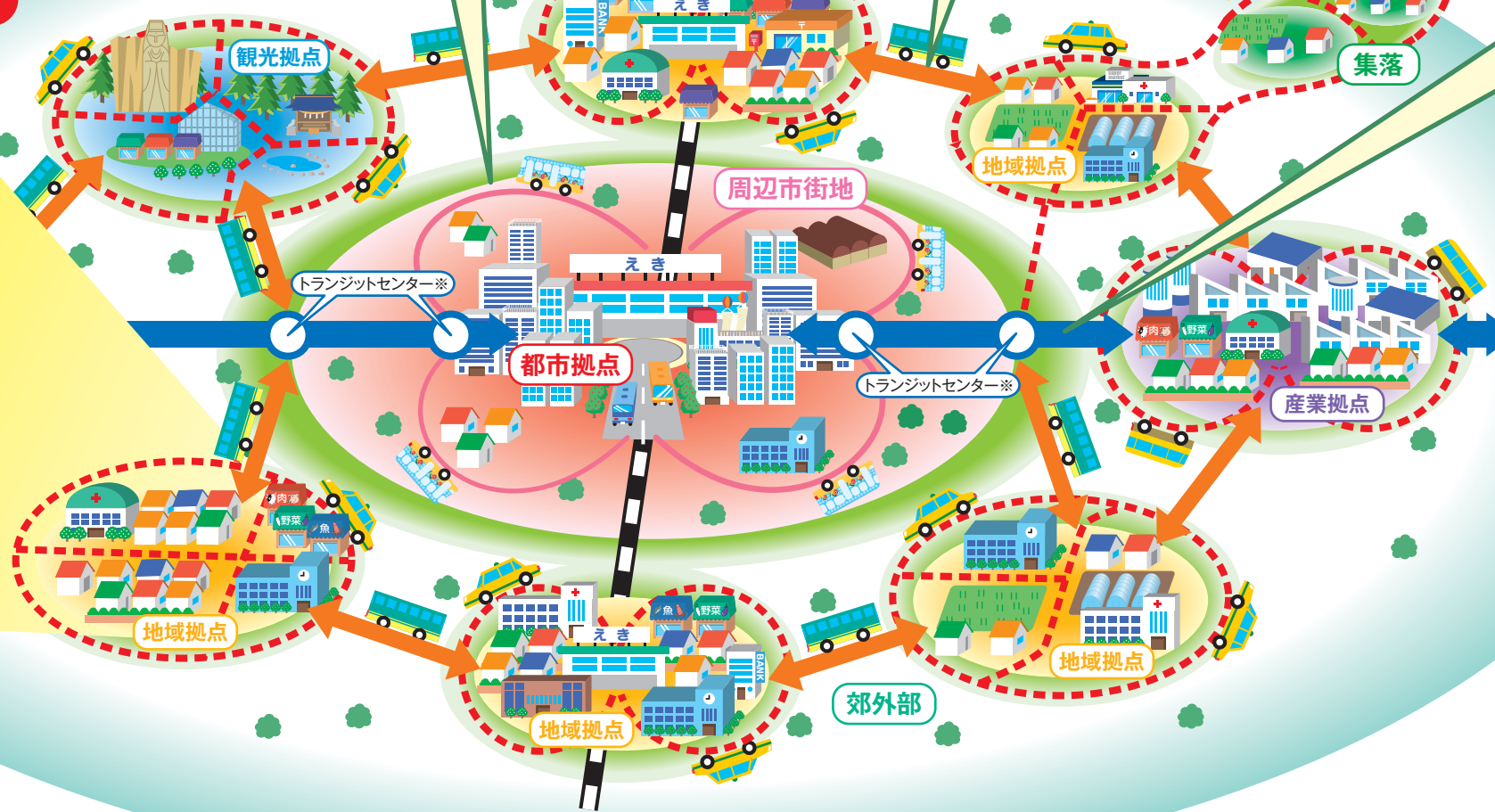


BRT(バス・ラピッド・トランジット)連節バス ツインライナー(神奈川中央交通)

南北の鉄道に対し、東西に鉄道や路線バスとつながる新たな交通システム(基幹公共交通)を導入することで、公共交通全体のつながりが充実し、市域内を効率よく移動することができるようになります。

拡大してみると...

地域内交通



地域内交通は、地域のみんなが協力して運行している公共交通なんだよ。

現在は、清原地区で運行しているね。今後は、他の地区にも地域内交通が広がっていくんだね。

公共交通の利用環境が向上!

一枚のカードでいろんな公共交通が利用できると乗り換えが便利になるね。

●ICカードの導入



ICカード(山梨交通)

●バス停の利用環境整備



ハイクレードバス停(横浜市)

ICカードの導入などにより、公共交通をスムーズに乗り換えることができます。また、バス停に上屋やベンチを設置することにより、快適にバスを待てるようになります。

公共交通を多くの人に利用してもらうには、自転車やクルマとのつながりも大切だね!

●駅やバス停付近への駐輪場や駐車場の整備

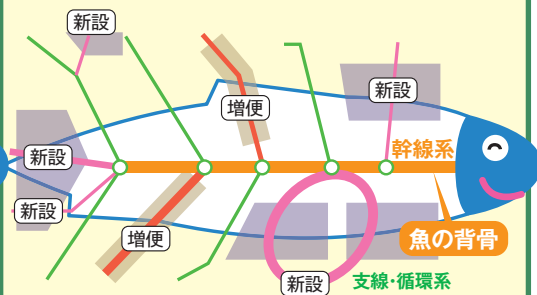


駐輪場 サイクル&ライド

パーク&ライド

駅やバス停付近に駐輪場や駐車場を整備することにより、自転車やクルマから公共交通への乗り換えがしやすくなります。

公共交通がつながるイメージは「魚の骨ネットワーク」



公共交通空白地域... 公共交通不便地域...
鉄道駅から半径1,500m、バス停から半径250m以上離れた地域 昼間の運行本数が2本/時未満の公共交通が不便な地域

鉄道や主要なバス路線などの幹線系(背骨)と循環バスや地域内交通などの支線系(小骨)が効率的につながることによって、公共交通空白・不便地域が解消され、広い地域で公共交通が便利に利用できるようになります。

地域に応じた公共交通の役割分担が大切なんだね。

※トランジットセンター: 鉄道やバス、タクシーなど、他の公共交通に乗り換えるための交通結節点のこと